



OB 会だより

国臨協 OB 会関東信越支部

平成 30 年 9 月 1 日
 発行責任者：藤川淳策
 編集責任者：大貫経一
 国臨協 OB 会事務局
 東京都町田市玉川学園 4-19-3
 TEL : 0427-23-4843



来年の総会・懇親会
 6月8日(土曜日)
 12:00~14:30
 アルカディア市ヶ谷

新会長挨拶 藤川淳策

第 37 回国臨協関信支部 OB 会の総会・懇親会が去る 6 月 2 日(土) アルカディア市ヶ谷において、会員 37 名、国臨協関信支部・本部・技師長会の各役員 6 名の出席のもと開催されました。

総会は、岩村会長の挨拶で始まり、平成 29 年度の経過報告と会計報告、そして平成 30 年度の予算案が示され、全ての議事は満場一致で承認されました。役員についても承認されました。メンバーは長年の顔見知りであり、気の合った仲間です。諸先輩のお知恵を拝借しながら、若い OB のセンスも導入し、楽しい会にしたいと考えています。

総会当日の朝、駅に向かって歩いていると、近所の方と出会いました。「どこへ行くの？」そこで次のように説明しました。「本日は OB 会があり、東京近郊はもちろん、遠くは長野、

新潟、群馬などからも多くの仲間が集まります。そして、楽しいひと時を過ごすのですよ。」・・・「へえ！素晴らしいですねえ！われわれ、民間企業を退職した者には、そんな広範囲の集まりなんてありませんよ！」この方は、関信 OB 会を大変羨ましがっていました。あらためて、この会の大切さを再認識したといえましょう。

手持ちの「OB 会だより」を整理したのは、5 月 9 日のことでした。第 30 回総会号に星野辰雄先生の写真がありました。

私が関信支部や国臨協本部の役員の時に、会議が終わると星野先生と役員達と一杯やるのが楽しみでした。先生の温かい人柄と、その時の楽しかったことなどに思いをはせて、星野先生はブラジルで元気に過ごされているだろうか・・・。

後日、星野先生が亡くなられたことを知りました。しかも、命日が 5 月 9 日だったのです。

星野先生いろいろとお世話になりありがとうございました。

心からご冥福をお祈りいたします。



藤川新会長 岩村前会長



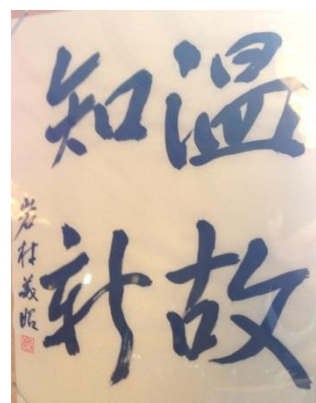
国臨協山崎副会長



小関事務局長



岩崎支部長



360度のソフトにて撮影



宮野勝秋さん 360° カメラ撮影





GUEST

Magic&play on harmonica

大野 清 さん



総会返信はがきより 近況報告 順不同・敬称略

中村春木：歌仲間や通訳仲間と、飲み会、旅行を楽しんでいます。仕事の予定がない時は二人の孫に会うのを楽しみにしています。

片山栄二：当日は都合が悪いので欠席致します。毎日、スポーツジムに通って健康管理を行っています。

片山紀美代：幹事さん、ご苦労様です。今だに、がんセンター、東京医療と忙しく通院しております。一見、元気そうに見えるんだけど。腰は痛いし、膝は痛いし、齢はとりたくないですね。

松田常次郎：元気です。

永井英司：この3月で仕事も一段落。今まで出来なかった家の整理など手をつけようかと思っています。今回、他会合のため欠席いたします。

福元幸子：週1の仕事、週3のスポーツクラブ通いとまあ元気に過ごしています。後期高齢に近づいて、運転免許の返納を検討中です。

山本優美子：自宅でのんびり過ごしています。皆様に会えるのを楽しみにしています。

国見忠義：役員の皆様お世話になります。新ニュースと言え、昨年あたりから身体機能のバランスが悪くなり、同時に大好きな酒も飲めなくなりました。心の病気かな。淋しい限りです。東京オリンピックまで頑張ります。現在は家族と自分の介護で孤軍奮闘中です。

下杉彰男：年相応の静かな生活をしています。

佐藤乙一：最近の人生観、あたかも筍(竹の子)が大きくなるのに外皮が剥がれてゆくように同年周囲の者が端から旅立ってしまう。97歳とは一体何だろう？

田上高德：6月9日まで九州(宮崎)に帰省しています。皆さんに会えなくて残念ですけど、来年はぜひ参加したいと思います。農地の自己管理の為、草刈りに帰っています。

水島美津子：このたび3月31日付けをもちまして退職しました。国立病院機構より地域医療機能推進機構 東京山手メディカルセ

ンターへ出向し在職中は格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。新潟に戻り、早1ヶ月過ぎ、ゆったりとした日々を暮らしております。OB会総会には出席できません。今後とも宜しくお願い申し上げます。

杉崎 登：皆様、お元気ですか。最近、高齢者が多くなり、畑には家庭菜園を行っている人が目立ち、作る野菜も同じものが多く見られます。日々健康のため畑に出掛けています。

宮崎澄夫：定年退職後4年が過ぎ、親の介護の比重も高くなり、毎日忙しく過ごしております。

軍司光夫：年なりに足腰が弱ってきました。残念ですが欠席いたします。

中田 章：冬と夏とで1年が過ぎる。四季の無くなった日本列島。その分、年が過ぎるのが早くなったと感じます。そして私も年寄となった。恥ずかしながら。

秦 政行：毎日、料理を楽しみながら元気に過ごしています。

佐藤蓉子：役員の皆様ご苦労様です。まだパートで仕事を続けていますので、今年もOB会参加出来そうもありません。

高藤 博：遅くなりましたすみません。地区の役員をしていました、毎年この日6月2日は出席できません。よろしく願い致します。

中島 治：毎月、福島県南部白河周辺の山で、木々の伐採や薪作りを楽しんでいます。

三橋文子：2年がかりの骨の手術も昨年11月末に終わり、今はリハビリに努めています。3月の御彼岸には久しぶりにお墓参りに行って来ました。人込みが怖く緊張するので、家に帰るとどっと疲れが出ます。でも、去年より4キロも増え顔だけ見たら元気一杯です。来年には出席したいと思っています。

渡辺純夫：お誘いありがとうございます。毎年楽しみにしております。明日死ぬかのように生きています。元気をもらい楽しみにして行きます。よろしくお願いします。

総会返信はがきより 近況報告 順不同・敬称略

松本はつ代：友人より出欠の有無を尋ねられる迄すっかり忘れており、申し訳ありません。この様に近頃物忘れも増え、軟弱な精神を体力で自信をもってカバーしてきたつもりでしたが、寄る年波には勝てず、大部ガタが来ています。現在、まずまず健康と言える様、メンテナンス中です。

小松和典：最近、地球規模で火山が暴れ、地震もおきて、あの悪夢が再び脳裏をよぎる。定年後に鉄道模型を始めた。先日、新宿落合の店で大人買いをして大きな袋を下げて帰宅したら、我が家のかみ山(さん) 休火山だったらしい。突然噴火した。良いではないか！居酒屋の回数が激減したのだから。今のところ余震はない。

高野友丈：まだ元気です。働いております。

鈴木喜久雄：今回は、ちょっと予定が入ってしまい欠席させていただきます。

相賀静子：年々、体の心配がありお返事おそくなりました。元気にはしておりますが、上京することが少なくなって来ました。

高野 了：元気にして居ります。晴れた日は浜辺を散歩しています。

鈴木知恵子：春先に急速に伸びた枝を切り落としている際、すべって指先を切ってしまい救急病院にかけ込み、3針縫いました。小さな傷でしたが、不便な日々となり、ようやく落ち着いてきた所です。

山下幸作：お陰様で元気に暮しています。お会いするのを楽しみにしています。

木下忠雄：先日、長崎県のハウステンボスのコテージ風ホテルで2日間過ごし、久しぶりにのんびりしてきました。3日目はシーボルトが我国に西洋医学を広めた「鳴滝塾」を尋ねました。鳴滝の地は、山坂の多い小さな町で、日本全国から若い医師達がこの地によくぞ集まったものと感心し、近くにある「シーボルト資料館」を見学した。

古座野行夫：変化のない毎日を過ごしていま

す。一万歩を歩いていますが、歩く時間がだんだんと長くなって来ています。60代では1時間、70代に1時間20分、現在は1時間40分になりました。

坂本 修：古希も過ぎたので気ままに暮らしています。(成人病等で通院する事なく)

坂牧紀一：相変わらずの生活を過ごしていますが、花粉症、風邪に悩まされ、回復の時間に齢を感じています。

大貫経一：辛と幸は似ていますが、幸になるのには、辛を通過して成ることを銀座のママから聞きました。

杉澤頼昭：2月末入院しましたが、現在は問題なく生活しています。

上原信夫：工夫する楽しみを実感しています。

岩下淨明：毎日8,000歩を目指し健康に留意しています。

藤澤紀良：定年退職後も埼玉病院でお世話になっています。埼玉病院は200床の増床に伴い、看護師100名を増員したため、小生は宿舎を出ることとなり、現役中には経験のなかった電車通勤をこの歳で初経験し、通勤の大変さをしみじみと感じている日々です。

福島利光：退職後の時が経ちすぎて、唯生きているだけの感で過ごしています。明日のスケジュールを考えながら日々を送っていた頃をなつかしく思っております。

原 和子：昨年夏、タワーマンションに引っ越しました。先約がありまして出席できません。盛会をお祈りいたします。

油井慎嘩：80才で仕事終了。元気でなんとか過ごしています。

河村静枝：ようやく体調も良くなり3年ぶりに出席できます。楽しみにしております。しばらく休会しておりました体操等の活動を再び始めました。あとは庭の草花の世話をしています。OB会開催にご尽力下さいます皆様方に厚く御礼申し上げます。

総会返信はがきより 近況報告 順不同・敬称略

奥田 勲：皆様、お変わりありませんか。私も何とか日々過ごしております。今年こそはOB会参加を、と思っておりましたが残念ながら今回も地方出張と重なり欠席させていただきます。皆様の御多幸を祈念いたしております。

中野正直：私事のため都合がつきません。皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

大野 清：会員の皆様、お元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。70歳の壁は仕事を続けるには厳しい現実ですが、昨年に転職して現職場で頑張っています。介護の社会は慢性人不足の状態で、我々もいずれはお世話になる頃には、利用したくても出来ない状態になる恐れがあります。いつまでも、心身共に元気に過ごすことは自分自身の事だけでなく、社会の為にも大切なことと思います。私の近況は「OB会だより」第71号に掲載させて頂きました。退職後、初めて出席させて頂くOB会を楽しみにしております。

宮野勝秋：退官し15年目、後期高齢者の仲間入り。ビデオ撮影・編集とビデオからの写真(静止画)切り取り印刷と、時間が足りない毎日です。体調は少し太り気味です。最近、360°カメラに凝っています。

鈴木良子：定年後の日々を恙無く過ごした平成の世は残りわずか。新になる元号の下で、もう暫く一病息災で自立した日々であるようお願いしている今日此の頃です。

川畑 久：家事都合のため欠席させて頂きます。

益子満男：昨年暮れに、体調を崩して、この3月に入院。現在は退院してリハビリに励んでおります。皆様の御健勝を祈ります。

上杉健治：特老ホームで将棋ボランティアと家庭菜園をやっています。

並木信治：残念ながら、今年も諸事情にて欠席します。趣味のカメラも何とか続いています。歩ける時に活動しています。間口も広い

が奥行も深いです。

霜田重雄：大変ご無沙汰しております。なかなかOB会総会に出席できませんが、クリニックで検査の仕事と孫の子守、家庭菜園で野菜作りで頑張っております。

松林 守：施設の行事と重なっており出席出来ません。申し訳ありませんが、宜しく願い致します。

熊井健晴：都合で欠席します。

椎津 稔：58歳で国立病院を辞し、民間病院へ移籍し10年勤務。・・・もう遊ぶぞお！と仕事や団体役員等をすべて辞め、半年間ほど全国を廻遊。・・・しかし社会参加していないと何か変だなあ・・・と思い始めた頃に2～3の病院からお話があり、また病院(医療法人大坪会 三軒茶屋第一病院)に勤務。・・・嗚呼70歳 貧乏性なのですね。余暇は相変わらずテニス・溪流釣り・陶芸・神輿担ぎ・借地農園・麦酒・冷酒・猫とひなたぼっこ・・・日々凡々。

石川修子：退職後9年間、近くの病院に勤めてきましたが、5月から後任にバトンタッチでき、やっとフルタイムの勤務から解放され新しい生活ペースに切り換えております。年に一度のOB会での再会を楽しみにしております。

和田佳子：八戸から相馬までの道「みちのく潮風トレイル」を歩いています。5月釜石から恋いし浜駅まで歩きました。

斉藤信一：図書館通いと軽い散歩等をして乍ら、認知症予防に努める日々です。皆様が、いつも全ての面で健康に過ごせますように祈っています。

小林和博：いつもお世話になっております。相変わらず町内の役員を引き受けて行事等に参加しております。

向山昌弘：再雇用2年目にて仕事に1日を過ごしています。通勤は毎日のよい運動になっています。

総会返信はがきより 近況報告 順不同・敬称略

小坂 諭：元気に海釣り、Face book 投稿に励んでおりますが、変形性膝関節症のため歩行が困難になりつつあります。

原田武江：出欠届が大変遅くなり申し訳ありません。やはり、欠席しようと思いましたが。実は妹と同居していますが、その妹が去年暮れに、今年にかけて入院し、又最近入院したりして家をあける事が心配になってしまっています。それで欠席する事に致します。会の盛況を祈っています。

小原千秋：♪あの人この人 あ顔 この顔 皆どうしているんだろう タバコと酒と遊びに暮れた やんちゃ時代の仲間達 元気であるか 変わりはないか 遠き昭和の まぶしい時代 ♪ 「昭和も遠くなりにはけり」

昭和歌謡を口ずさみながら、昔を思い出している昨今です。週3日程の仕事と趣味の卓球に汗を流しております。

岩村義昭：月2回千葉市内にある林に行き、里山の整備を手伝っている。伐採や笹刈り、遊歩道作り。希少種の金らん・銀らんなどあり。栗拾いもできる。夏は葉が生い茂り涼しい。鳥のさえずりが聞こえ、深呼吸してゆったりする。長生きしたい。そう思える。

叙 勲

平成30年 春の叙勲

坂牧紀一さん

元国立東京医療センター

臨床検査技師長

瑞宝双光章を授与されました。

永年のご功績に敬意を表し
心からお祝い申し上げます。

猫とピエロと粘土遊び

(平成18年：栃木病院早期退職) 椎津 稔

捏ね繰りまわして「粘土と遊びたい!」と思ったきっかけは、赴任先の療養所に作業療法の一環として整備されていた患者さん用の陶芸教室で、粘土の中の空気抜き(菊練り)や窯入れ等を勤務の合間に手伝ったことでした。「いつか本格的にやってみたいなあ!」と思っておりました。

その後、山梨や栃木の単身赴任先でグループを作り「夜の陶芸教室」へ通いました。目的は自分たちで造った大皿、深鉢、徳利やお猪口等を『酒処』に持ち込み、それらの陶器に料理や酒を入れて貰う…。宴席が楽しくなり、酒と肴は旨くなり、皆の笑顔も倍々増えました。

グループ全員(多職種約10数名)が曲がりなりにも(反ったり曲がったりで、出来栄はともかく)、この目的を達するまでは、月2回ほどの教室通いで3ヶ月から半年近くかかりました。勿論毎回終了後の反省会…粘土の種類と質と湿度・素焼までの留意事項・本焼前の釉薬選定と施釉・電気窯と重油窯や登り窯の比較・窯入れ等々、一流の陶芸家にでもなったような“話”で盛り上がり…いつもお酒が進み過ぎました。

3～4年ほど前に自宅に頑強な作業台を入れ、手回し轆轤の手捻りで紐造りを主体に楽しんでいました。家庭で使う食器類などは家内と手分けをして殆ど揃えましたが、やはり造形が楽しいものは花器や香炉・茶壺や珈琲カップ・酒器など、生活のアクセントを楽しむものでした。

OB会方々の中にも「陶芸」に親しみ本格的な方がいらっしゃると思いますが、私の場合は陶芸ではなく「粘土で遊ぶ」という趣味の域を超えていません。

しかし、＜遊び心＞や＜安価＞であることなどからでしょうか？小規模陶芸展などで何故か色々と売れています。

小生の粘土遊び…最近の幾つかの手慰みを御笑見下さい。

1. 赤鼻ピエロの珈琲カップ

※カップは白と黒土のマーブル



2. 持ち手付花飾り

※黒土 焼き締め

生け花教室、お茶会等で



3. 家紋入り紐蓋付き茶壺

※家紋は二重施釉後の堀浮かし
依頼により家紋を掘っています



4. 鬼猪口と冷酒用三合鬼徳利



左上の鬼面を裏返すと、鬼の両方の角と顎が
三点座支えとなり、左下のお猪口になります。
お猪口の中の漢字や模様、色合い等は、希望
により…。

右側の鬼徳利には「飲み過ぎるなあ〜ッ！」
と睨まれているようですが…

つつい…。

近所の「小料理屋」や「釣り宿」等に置かせ
て頂いております。

5. 猫の珈琲カップ たち



三毛猫 黒猫 グレーのシャム猫 白猫

三毛猫

黒土 焼き締め

黒猫

赤土 透明釉薬

眼は淡い黄色

グレーのシャム猫

黒土 透明釉薬

瞳はコバルトブルー

白猫

黒御影土 透明釉薬

手回し轆轤の手捻りなので、全く同じものや
量産も出来ませんが「猫の珈琲カップ」が一
番良く出ています。

星野辰雄さんの死を悼む

佐藤 乙一

まえがき

平成30年5月9日午後3時すぎ、机上の電話ベルがけたたましく鳴った。

「リリーン、リーン、リン」受話器とりあげ耳にあてるや「佐藤先生 星野ゆりです」と。

「ゆりさん」とは呼んでも手紙のやりとりはなかったから、正確な文字はわからない。

そのゆりさんは言葉を続けて言う。

「父 星野辰雄が亡くなりました」「え？」聞き直した。「父が亡くなったんです」と。

そういえば風の便りで体調があまりよくないとは耳にしていた。「年齢は？」と問えば、「90歳」あ、そうか、私と7歳違いだったんだな と。一人静かに合掌。冥福を祈った。

思い出(1)

思い起せば星野さんを知ったというか、とくに親しくなったのは昭和20年後半だったように思う。氏はこの頃北海道代表として全医労本部の執行委員として1年間東京に常駐した。その本命は検査技師法を制定するための専任役といっても過言ではなかった。全医労本部は中野区。技師法制定の本部は旧東一(今の国際医セン)。星野さんと前後して大阪の小林種一氏も全医労に出た。やはり技師法制定の戦略・戦術の構築だったのだ。

思い出(2)

昭和30年代札幌で全医労大会があり、技師法制定運動の動議を出すために立川支部代表の名を借りて私も参加。大会の前日、北海道第一療養所の官舎に住む星野宅に1泊。ここで杯を交わし、検査業務従事者法制定の話し合い。このとき、私はあることを決めた。「星野氏を東京に呼ぼう。方法はただ1つ。全医労の役員として」考えてみれば約60年も前の話。シドロ・モドロのお許しを。本当のところは全医労北海道が東京へ出すことをすでに決めたというのが正解である。

思い出(3)

話は替わって検査技術者として東京へ呼んだらどうかということだった。

東京へ呼ぶといっても、どこへ呼ぶかだった。結局立川へ。まだ技師長制度がない頃だったから筆頭主任が今の技師長相当。そして立川で数年を経た。

ここで東一の広明武雄筆頭主任の退職が浮上。本省も地方医務出張所(今のブロック)も私を指名。私も40歳超の声を聞いていた。

その私はどうしたか。即座に断った。「あそこはこの年齢の私が行く所ではない。もっと若い者をあて、根本的に見直しをした方がいい。あそこは日本一大きい国立だ。若者のエネルギーを注入すべきだ」と。そこで星野氏の氏名を出した。1ヶ月、2ヶ月の月日が流れた。

その後何の動きもないので「医師でも当てるだろう」と思いきや、本省、地方局で検討していたらしいのだ。そりゃ そうだろう30代後半の星野氏を天下の東一技師長に指名したのだから。

そして実施。その後の業績はみなさんご存じのとおり。

反省

昨年一時帰国した。「立川にも挨拶に行きたい」とのこと。来立、昼食を伊勢丹でゆっくりとり、そして昭和記念公園案内と立川駅をブラリ。

「変わったものだね。1人じゃ歩けないな」とひとこと。午後4時半近くなった。

ここで夕食でもと思ったのだが、久しぶりの帰国、ご親戚が待っているだろうとここで別れてしまった。

「きっとこれが最後になるだろう。お互いに長生きしようね」「サヨナラ」ありったけの声をして見送った。万人の通勤客さんたちが目をパチクリ。

「サヨナラ」こう書いていると目の中に浮いてくる涙が鼻の中に流れ込んだ。

「星野さん サヨナラ ご冥福を」
合掌 おわり

第46回 関信支部学会開催のお知らせ

上記についてOB会会員の皆様へ下記の通り開催案内がありました。

日時：平成30年9月1日（土）
9：30～16：30

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

学会テーマ：次世代の臨床検査
～知識・技術の継承と進化～

学会長 国臨協関信支部長 岩崎康治

平成30年度役員氏名

会 長	藤川 淳策
副会長	木下 忠雄
事務局長	大貫 経一
会計	澁谷 千春
役員推薦委員	三浦 隆雄
会計監査	浅里 功
会計監査	岩村 義昭
相談役	小原 千秋
相談役	宮野 勝秋

今回、今野清子さんが退任しました。
お疲れ様でした。

（会員数 116名 新入会員含む）

会費納入のお願い

今回、会報とともに振込用紙が同封されている方は、本年度（平成30年度）の会費納入をお願いいたします。

平成30年度会費：3,000円

6月に開催された総会・懇親会参加の皆様は納入済です。3年間納入がない場合は脱会とみなすこととなりますので、ご理解のほどお願いいたします。

会報原稿の募集

会報は皆様からのご寄稿により成り立っています。近況報告、身近な出来事や情報、自作のイラスト・写真・エッセイ・川柳・旅行記・趣味・ご当地の料理や観光紹介など形式はとくに問いませんので、お気軽にお寄せ下さい。

原稿はできるだけワードで作成していただけると助かります。なお、手書きでも結構です。下記宛メール又は原稿郵送して下さい。

なお、原稿のご依頼を電話又は手紙にてお願いすることがあります。

＜原稿送付先＞

〒311-3117

茨城県東茨城郡茨城町桜の郷5-10-7

大貫 経一

TEL：029-357-0397

Mail：ohnuki@ae.auone-net.jp

＜編集後記＞

中高年の多くが、自分の生きがいや健康維持に対する意識の高まりから、ボランティア活動、園芸、旅行、囲碁、将棋、テニス、ゴルフ、家庭菜園、ダンス、写真、手品、俳句、川柳、陶芸等、趣味が多様化してきました。また、健康食品やサプリメントの力を借りてますます元気なおじいさん、おばあさんが増えてきております。還暦を過ぎても、頭脳は衰えることなく仕事をこなしている方々も多くいます。

先日、このような話を聞きました。

ゴルフが趣味の還暦を過ぎたご夫婦と親しくなった方からです。奥さんは、スタイルもやや良く、ミニもお似合いの方でスコアは100を切ることもあるということです。一方、ご主人の腕前は大部良くないようでした。ある日、ご主人のプレイを見てびっくり。道具、ボール全て新しく、プロのレッスンを受けたようなスイング。

奥様曰く「主人が新しくなったのよ。」

（記：大貫経一）